



▲温泉入浴者 200 万人目となった上山鈴子さん（写真左から 2 番目、鹿屋市串良町在住）。あすばる大崎正面玄関でくす玉が割られ、東靖弘町長から記念品が贈られました。

5月28日（日）、広域交流活性化センター『あすばる大崎』の温泉入浴者が、200万人を達成したことを記念して、セレモニーが開かれました。

記念すべき200万人目となったのは、鹿屋市串良町からお越しになった上山鈴子さん（62歳）。正面玄関入り口で、くす玉が割られ、東靖弘町長から大崎産マンゴーと花束、200万人目入浴者認定証が贈られました。また、前後入浴者にはあすばる焼酎と入浴回数券、達成後先着200名にあすばるオリジナルタオルが配られました。

温泉が大好きだという上山さんは「今日は主人と2人で来ました。サウナが特に気に入っており、週に4日ほどあすばる大崎を利用しています。200万人目ということでもとても驚き、感動で胸がいっぱいです。」と話されました。

あすばる大崎は、道の駅『くこの



松原おおさき』に隣接している温泉宿泊施設で、大崎町・榊ジャパンファーム・そお鹿児島農協の出資により、第3セクターとして、平成10年8月にオープンしました。売店、レストラン、物産館などもあり、特に温泉は町内外からたくさんのお客でにぎわっています。

平成18年4月からは、指定管理者制度が導入され、㈱あすばる大崎による運営がスタートしています。

あすばる大崎温泉入浴者数の推移

平成10年11月21日	10万人達成
平成11年8月8日	30万人達成
平成13年1月28日	70万人達成
平成14年3月24日	100万人達成
平成16年4月7日	150万人達成
平成18年5月28日	200万人達成

（営業日数 2,750 日）

